- ●Windows Vista / Windows Server 2008 のイベントビューアに記録された任意のイベントから警子ちゃんシリーズを動作させる方法
- 1. ISA remote shell (IRSH) をインストールします。(Windows Vista / Windows Server 2008 には Remote shell コマンドが用意されていません)
- 2. 「スタート」-「管理ツール」から「イベントビューア」をクリックします。
- 3. イベントビューアが表示されたら、任意のイベントを右クリックで選択して、「タスクを このイベントに添付」をクリックします。

カスタム ビュー	アプリクーション				
∎ Windows ログ	LAIL	日付と時刻	y-2	1ペン タスク	
▶ アプリケーション		200//12/0/ 15:54:28	LoadPert	1001 なし	
🛃 セキュリティ		200//12/0/ 15:52:55	SecurityCenter	1 20	
■ セットアップ		200//12/0/ 15:52:14	CertificateServices		
システム	(1) 1 作報	2007/12/07 15:52:14	Desktop Window M	1ヘントのノロハティ(E)	
■ 転送されたイベント	(1) 悄報	2007/12/07 15:52:14	Winlogon		
アプリケーションとサービス サゴス ケレプション	(1)情報	2007/12/07 15:52:14	Winlogon		
	イベント 1, Certifica	teServicesClient			
	全般 詳細	クライアントが正常に開始されま	した。	転初の/月報に更新(F)	
	全版 詳細	クライアントが正常に開始されま		最新の/目報に更新(F)	
	全版 証明書サービス	クライアントが正常に開始されま アプリケーション CertificateServicesCli	した。 	■ 転新の7周報(こ更新(F) ペルプ 2007/12/07 1552:14	
	全版	クライアントが正常に開始されま アプリケーション CertificateServicesCli 1	した。 いた ログの日付(D): タスクのカテゴリ(Y):	転前の/目報に更新(F) ペルプ ペルプ 2007/12/07 15:52:14 なし なし	
	全版	クライアントが正常に開始されま アプリケーション CertificateServicesCli 1 情報	した。 ent ログの日付(D): タスクのカテゴリ(Y): キーワード(K):	転初の/目報(こ更新(F) ヘルプ 2007/12/07 15:52:14 なし	
	全版 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	クライアントが正常に開始されま アプリケーション CertificateServicesCli 1 情報 root-PC¥root	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	転称の/目報に更新(F) ヘルプ 2007/12/07 15:52:14 なし root-PC	
	全版 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	クライアントが正常に開始されま アプリケーション CertificateServicesCli 1 情報組 root-PC¥root 情報	ent ログの日付(D): タスクのカテゴリ(Y): キーワード(K): コンピューダ(R):	載新の7月報に更新(F) ヘルプ 2007/12/07 15:52:14 なし root-PC	

4.「基本タスクの作成ウイザード」が起動したら、「基本タスクの作成」の「名前」欄に任意の名称を記述して、「次へ」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザー	к	
5日 基本タスクの作成		
基本タスクの作成 イベントがログに記録されたとき 操作 完了	このウィザードでは、3 詳細オプションや設定	ŧ通タスクを素早くスケジュールします。複数のタスク抹作やトリガなどの ε〔は、【操作】 ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。
	名前(<u>A</u>):	認証サービス正常起動
	▋党8月(<u>D</u>):	
		< 戻る(目) 次へ(Ⅳ) > キャンセル

5.「特定イベントのログへの記録時」が表示されたら「次へ」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード	:		X
1 特定イベントのログ	への記録時		
基本タスクの作成 イベントがログに記録されたとき 操作 完了	ログ(<u>O</u>): ソース(<u>S</u>): イベント ID(<u>E</u>):	Application Microsoft-Windows-CertificateServicesClient	*
		< 戻る(B) (汰へ(N) > キャ	トンセル

6.「操作」が表示されたら、「プログラムの開始」を選択して、「次へ」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザート	S	x
沙 操作		
基本タスクの作成 イベントがログに記録されたとき 操作	タスクでどの操作を実行しますか?	
完了	◎ プログラムの開始(T)	
	◎ 電子メールの送信(S)	
	◎ メッセージの表示(M)	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセ	IL I

7.「プログラムの開始」が表示されたら、「プログラム/スクリプト」に "irsh"、「引数の追加」に "DN-1000の IP アドレス" と "動作コマンド"を記述します。

基本タスクの作成ウィザード			×
🔟 プログラムの開始			
基本タスクの作成 イベントがログに記録されたとき 操作	プログラム/スクリプト(<u>P</u>):		
プログラムの起動	irsh		参照(<u>R</u>)
561	引数の追加 (オプション)(<u>A</u>):	192.168.1.102 rly3 TurnO	n
	開始 (オプション)(工):	-	
		< 戻る(B) 次へ()	り> キャンセル
2 「引粉の泊加」 た記法	それた体正さ、「プロガニリ」	< 戻る(B) 次へ(I	り〉キャンセル

※「引数の追加」に記述された箇所を「プログラム/スクリプト」へ記述した場合でも、コ マンドは正しく実行されることを確認しています。

8.「概要」が表示されると、今まで設定した内容が確認できるので、問題がなければ「完了」 をクリックします。

基本タスクの作成ウィザート	\$	
1 概要		
基本タスクの作成 イベントがログに記録されたとき 操作 プログラムの起動 完了	名前: ドリガ: 操作: [] [完了] をクリッ!	認証サービス正常起動 イベント時: イベント時 - ログ: Application、ソース: Microsoft-Wir プログラムの開始: irsh 192.168.1.102 rly3 TurnOn りしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く
	[完了] をクリックし; ます。	たときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加され く戻る(B) 完了(F) キャンセル

9.「スタート」-「管理ツール」から、「タスクスケジューラ」をクリックします。

10.「タスクスケジューラ」が起動したら、「イベントビューア タスク」に設定したタスク が保存されていることを確認します。

🕑 タスク スケジューラ		
ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) へ	ルプ(<u>H</u>)	
🗇 🔿 🔀 📰 🚺		
🕑 タスク スケジューラ (ローカル)	名前 汗斑 卜口书	操作
🔺 🔂 タスク スケジューラ ライブラ	1000 「フリン の認証サービス正常記動 準備完了 イベント時・ログ・Application ソーフ・Microsoft-Windows-Cert	イベント ビューア タスク
 ▲ タスク スケジューラ ライフラ ▶ ○ Microsoft ○ イベント ビューア タスク 	 ② 認証サービス止常起動 準備完了 イベント時 - ログ: Application、ソース: Microsoft-Windows-Cert <!--</td--><td> ③ 基本タスクの作成 ● タスクの作成 ● タスクのインボート ◎ 素行中のすべてのタ ○ 新しいフォルダ × フォルダの削除 表示 ▶ ○ 最新の情報に更新 ② ヘルプ </td>	 ③ 基本タスクの作成 ● タスクの作成 ● タスクのインボート ◎ 素行中のすべてのタ ○ 新しいフォルダ × フォルダの削除 表示 ▶ ○ 最新の情報に更新 ② ヘルプ
	名前:認証サービス正常起動	選択された項目
	作成者: root-PC¥root 試明時	 ▶ 実行 ● 終了 ● 無効化 エクスポート □ プロパティ
	E	🗙 削除
< <u> </u>	セキュリティオブション タスクの実行時に使うユーザーアカウント: root-PC¥root ② ユーザーがログオンしているときのみ実行する ③ ユーザーがログオンしているかどうかにかかからず実行する ③ パスワードを保存しない。タスクがアクセスできるのはローカルリソースのみ ④ 最上位の特権で実行する	2 vuj
		- 🧧 💧 44 🖄 🥝 💿 CAPS -

※「操作」タブをクリックすると、イベント発生時に実行されるコマンドを確認できます。 ※タスクを削除する場合は、タスクを右クリックで選択し、「削除」をクリックします。

この方法は Windows XP Professional および Windows Server 2003 で用意された 「eventtriggers」コマンドを GUI 化したものです。

参考 URL http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc773308(WS.10).aspx